



一期一会 - 7 -

<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/jh15/>



緊急事態宣言延長、どうなる体育大会?!

緊急事態宣言が9月30日まで延長されることが決定されました。体育大会はその30日に予定していましたが、その日には実施できません。そのため、予備日として設定していた **10月1日に開催**します。(雨天時は4日に順延します。)

体育大会や修学旅行等といった学校行事は、準備を進めていく際にリーダーシップやフォロワーシップを育む機会となったり、クラスメイトの意外な面に気づいたり、友情が深まったり、達成感や連帯感を得られ自己肯定感や有用感が高まったり、といったよい面が期待できます。



時には仲間内で意見が対立して気まづくなったりもしますが、うまくいかない場面を通して感情のコントロールを学ぶ、言葉の使い方に対する意識が高まる、多面的に物事を見られるようになる、次回のトラブル回避のために他者への許容範囲が広がる、といった経験が得られるかもしれません。うまくいかない時や失敗した時もまた人間的に大きく成長できるチャンスです。

十五中では、これらの「非認知能力」を高める活動も大切にしたい、と考えています。取り組んだ充足感が学校生活の満足感となり、学業へのモチベーションにもつながると思います。

ただ、今回は緊急事態宣言が明けてすぐの体育大会となります。感染対策には十分に気をつけて、次のような配慮をして取組みを進めています。なにとぞご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

- ・プログラムの短縮
- ・手洗い、消毒の励行
- ・対面密接を避ける競技種目
- ・競技時以外のマスク着用
- ・準備のため放課後に残る人数の制限
- ・教室内の換気の徹底
- ・感染リスクを下げる応援の形態
- ・当日の参加者の人数制限

デルタ株が流行しています

市内のいくつかの学校で学級閉鎖が起っています。(詳しくは豊中市 HP に掲載されています) 小中学生の感染は今のところ家族からの感染が多いようですが、それが学校内で広がると長期の学級閉鎖にもなります。同居者が風邪症状の時は学校を休むようにしてください。それらの場合には欠席でなく出席停止になります。「“体調不良者” のリアルタイムでの検出 “がクラスター予防のための “生命線” だ!」 ある医療関係者の言葉です。ご協力よろしくお願いいたします。

もしも生徒が PCR 検査で陽性になると、次のような流れになります。

- ① 症状の発症または PCR 検査の 2 日前からの出席状況を学校で調べます。
その間の登校がなければ、特にそれ以上の調査はせず、その生徒だけが出席停止で療養となります。医師の許可が出た後に登校できます。
- ② 登校していれば、その間の授業での活動やマスクを着用せずにいた状況、昼食時の様子、部活の練習内容などを学校から保健所に報告します。
- ③ 保健所は状況を検討して、近くにいた人を濃厚接触者として認定します。
この作業に時間がかかる場合は、その間学級休業となる場合もあります。
- ④ 濃厚接触者として認定された人は PCR 検査を受けます。その人は PCR 検査の結果が陰性でも原則 14 日間出席停止となり登校できません。
- ⑤ 濃厚接触者がいなくても、クラスター対策としてクラス全員が PCR 検査を受けるよう指示されることもあります。その場合結果が分かるまで学級休業となります。
- ⑥ ④や⑤の検査で新しい陽性者が出た場合は、新たな濃厚接触者を特定する作業となり、学級休業期間がさらに延長 (5 日から 10 日間程度) されます。その日数は、陽性になった人の感染経路や広がっている人数等を吟味して決められるようです。

※同一学級内に複数の陽性者が出た場合であっても、すべて同一の感染経路であると特定されるなど感染拡大の恐れがないと判断された場合には、学級休業にはなりません。

十五中でもいつ学級閉鎖が起こるかもしれません。もしも学級閉鎖が起こった場合は、その日数にもよりますが体育大会の延期や、実施形態を変えることになるかもしれません。

保健所の方のお話では、怖がりすぎず、しかし気を緩めないことが大切だとのことでした。物の消毒はすればより安心ですが、石けんによる手洗いを徹底した方が効果は高く、マスクは不織布マスクが良いそうです。